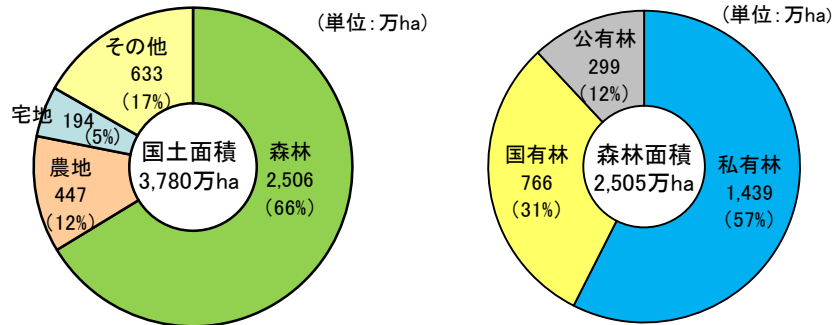


森林の状況

- 我が国は世界有数の森林国。森林面積は国土面積の3分の2にあたる約2,500万ha(人工林は約1,000万ha)。
- 森林資源は人工林を中心に蓄積が毎年約7千万m³増加し、現在は約52億m³。
- 人工林の半数が一般的な主伐期である50年生を超えており、資源を有効活用すると同時に、循環利用に向けて計画的に再造成することが必要。

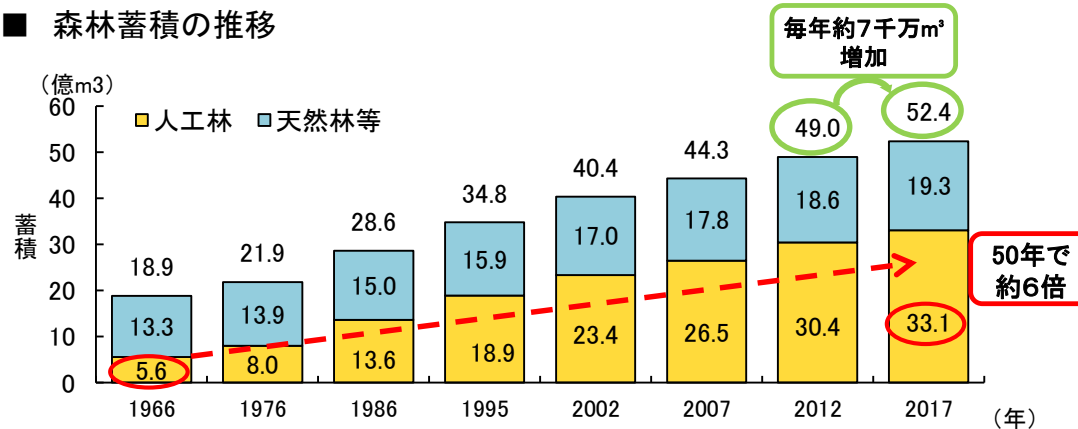
■ 国土面積と森林面積の内訳



資料: 国土交通省「平成29年度土地に関する動向」
(国土面積は平成28年の数値)
注: 林野庁「森林資源の現況」とは森林面積の調査手法及び時点が異なる。

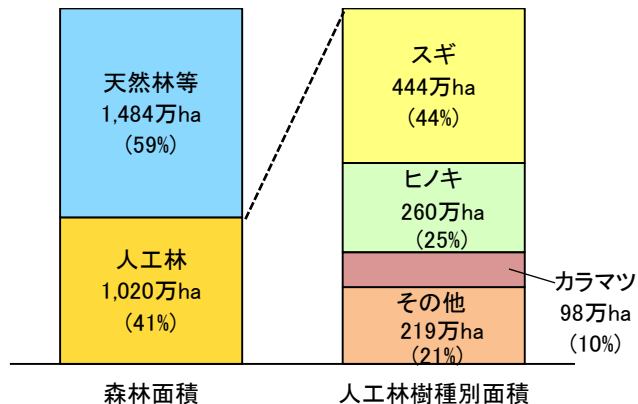
資料: 林野庁「森林資源の現況」
(平成29年3月31日現在)
注: 計の不一致は、四捨五入による。

■ 森林蓄積の推移



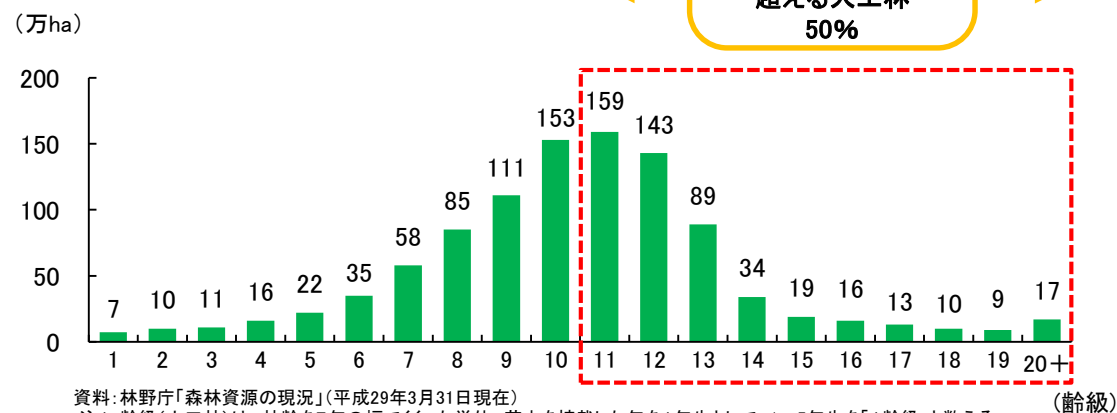
資料: 林野庁「森林資源の現況」(各年の3月31日現在の数値)
注: 総数と内訳の計の不一致は、単位未満の四捨五入による。

■ 人工林の樹種別面積



資料: 林野庁「森林資源の現況」(平成29年3月31日現在)
注: 計の不一致は、四捨五入による。

■ 人工林の齢級別面積

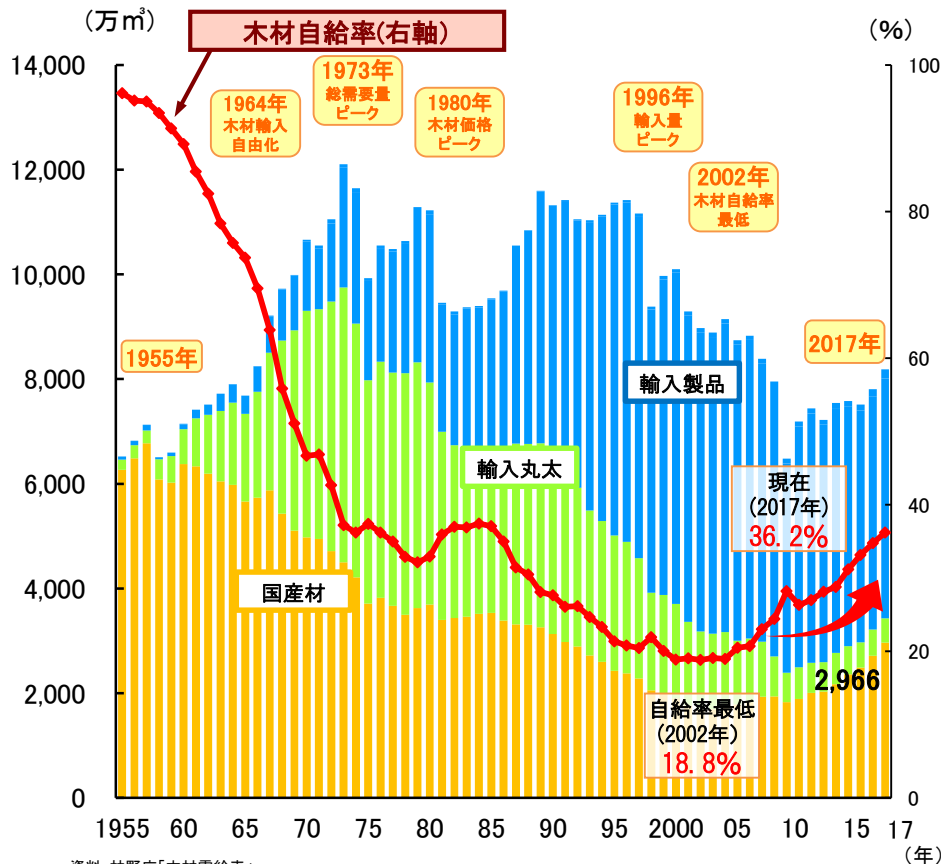


資料: 林野庁「森林資源の現況」(平成29年3月31日現在)
注1: 齢級(人工林)は、林齢を5年の幅でくくった単位。苗木を植栽した年を1年生として、1~5年生を「1齢級」と数える。
注2: 森林法第5条及び第7条の2に基づく森林計画の対象となる森林の面積。

木材需給の動向

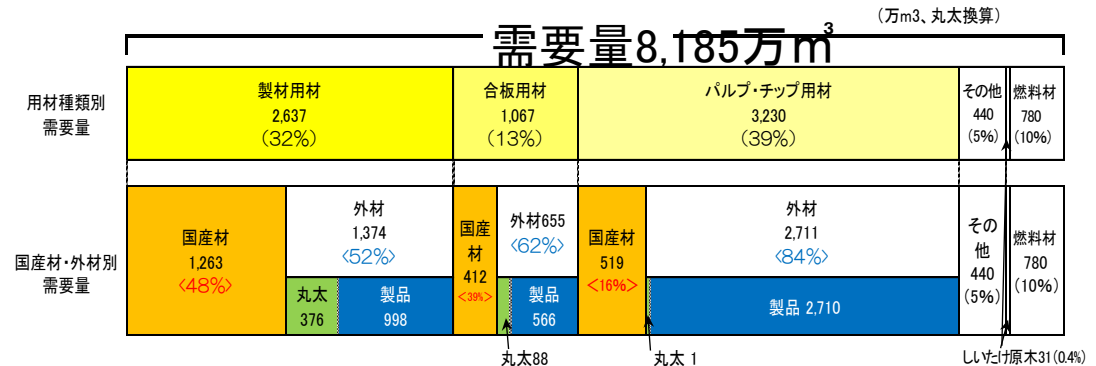
- 木材供給量は、住宅着工戸数の減少等を背景とした木材需要の減少により、長期的に減少傾向。
- このうち木材輸入量は、1996年をピークに減少傾向で推移する一方、国産材の供給量は、2002年を底に増加傾向。木材自給率も、2002年の18.8%を底に上昇傾向で推移し、2017年は7年連続の上昇で36.2%となり30年前の水準に回復。
- 木材需要量のうち、2017年は製材用が32%、合板用が13%、パルプ・チップ用が39%。

■ 木材の供給量の推移



資料：林野庁「木材需給表」
 注1：数値の合計値は、四捨五入のため計と一致しない場合がある。
 注2：輸入製品には、輸入燃料材を含む。

■ 木材の需給構造（2017年）



資料：林野庁「平成29年木材需給表」
 注1：その他用材には、加工材、再生木材、構造用集成材等が含まれる。
 注2：燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びベレットである。
 注3：数値は丸太換算値。数値と割合それぞれの合計は四捨五入のため計と一致しない場合がある。また、<>内の数字は各種別需要量における割合。

米国からの林産物の輸入状況

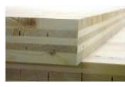
品目概要	関税率	2017～2018年の平均輸入量			
		単位	米国 (輸入額:百万円)	TPP11	世界
熱帯木材合板(その他)	6.0	m ³	1 (1)	1,026,813	1,720,609
広葉樹合板	6.0	m ³	66 (34)	122,678	240,809
熱帯木材合板(14種)	8.5～10.0	m ³	1 (0)	110,382	265,728
針葉樹合板	6.0	m ³	1,295 (148)	13,811	31,557
OSB	5.0～6.0	m ³	368 (35)	202,995	282,916
パーティクルボード	6.0	m ³	2 (0)	57,518	79,866
SPF製材	4.8	m ³	2,977 (160)	1,639,395	5,136,844
造作用LVL	6.0	m ³	222 (36)	25,886	550,562
造作用集成材	6.0	m ³	177 (17)	11,093	80,152
その他建築用木工品(CLT)	3.9	m ³	0 (0)	1	1
ブロックボード等	6.0	m ³	0 (0)	20,424	104,141
フリー板	2.9	m ³	15 (8)	34,632	259,531
さねはぎ加工	5.0	m ³	165 (4)	18,406	80,828
MDF	2.6	千kg	134 (42)	347,177	403,794
その他建築用木工品(CLT以外)	3.9	千kg	4,563 (759)	19,470	381,094
その他木製品	2.9	千kg	426 (190)	9,157	111,035
その他の有税品目 (たる・おけ、単板等)	2.2～7.0	-	- (3,508)	-	-
有税品目計	2.2～10.0	-	- (4,942)	-	-
無税品目 (丸太、製材、チップ等)	0.0	-	- (89,993)	-	-
合 計	0.0～10.0	-	- (94,935)	-	-

注1:「 - 」は、輸入量の単位が異なるため集計できない。

注2:() は2017年、2018年の輸入額の平均(単位: 百万円)。米国からの輸入額の95%は無税。

資料:財務省「貿易統計」

主な木材製品の概要

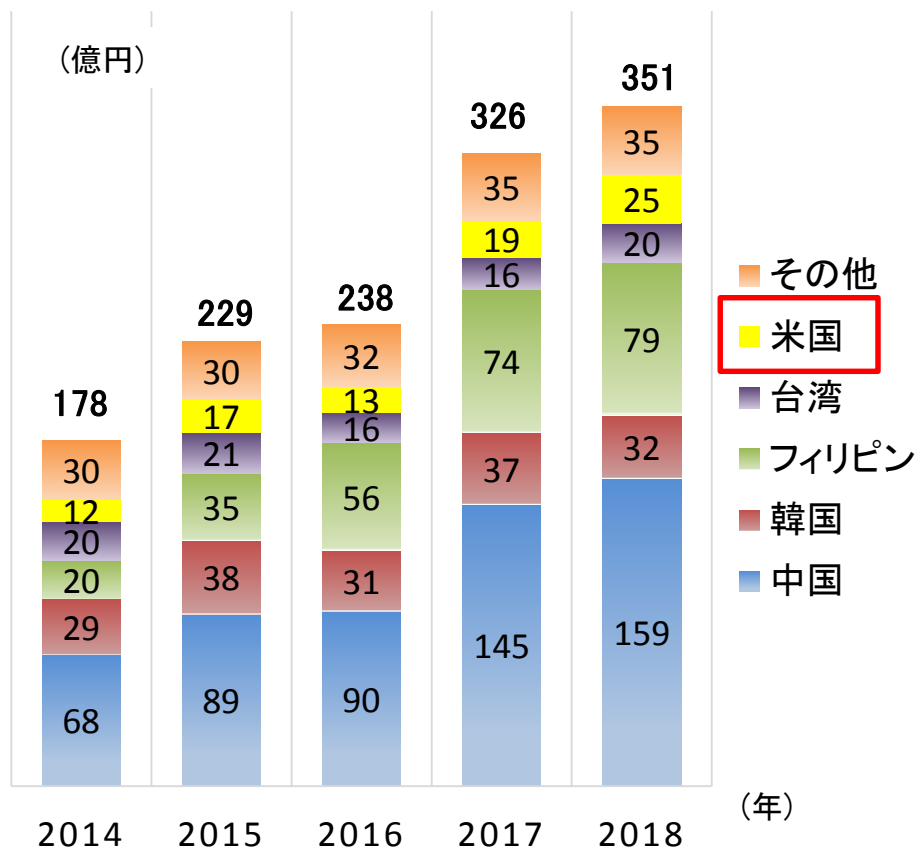
木材製品	イメージ	主な用途	国内との競合品
合板(※)		PB、OSB、MDF、ブロックボード、LVLと同じ	国産合板
OSB オリエンテッド・ストランド・ボード (Oriented Strand Board)。薄い木材の小片を何層にも重ねて作られたボードであり、住宅の屋根、壁、床の下地として使用される。構造用パネルとも呼ばれる。		住宅・大規模木造建築物の屋根、壁及び床の下地材	国産合板
パーティクルボード		家具用(組立家具、キャビネット等)、建築用(床や壁などの下地材等)	国産合板
SPF製材 トウヒ属・マツ属・モミ属 (Spruce、Pine、Fir) の製材。		住宅資材(ツーバイフォー工法用枠組材)	国産製材
LVL ラミネート・ベニア・ランバー (Laminated Veneer Lumber、単板積層材)。2~4mm程度の単板を数層から数十層、繊維方向を平行にして積層、密着したもの。		家具の芯材、間柱、梱包用など	国産合板、国産製材
造作用集成材		階段、壁面、カウンター、床材など	国産集成材
その他建築用木工品 (CLT) クロス・ラミネート・ティンバー (Cross Laminated Timber、直交集成板)。ひき板を並べた層を、板の方向が層ごとに直交するように重ねて接着した大判のパネル。		柱、梁、桁など、構造物の耐力部材	国産CLT
ブロックボード等		ドア、収納、扉など	国産合板
フリー板		階段、壁面、カウンター、床材など	国産集成材
さねはぎ加工		床材、壁面など	国産製材
MDF ミディアム・デンシティ・ファイバー・ボード (Medium Density Fiberboard、中密度 繊維板)。木質繊維を原料とするボードで、住宅の壁や家具、造作材に使用される。		壁面、家具、造作材など	国産合板

※ 合板には、熱帯木材合板(14種)、熱帯木材合板(その他)、針葉樹合板、広葉樹合板の4種類がある。それぞれの定義は以下のとおり。

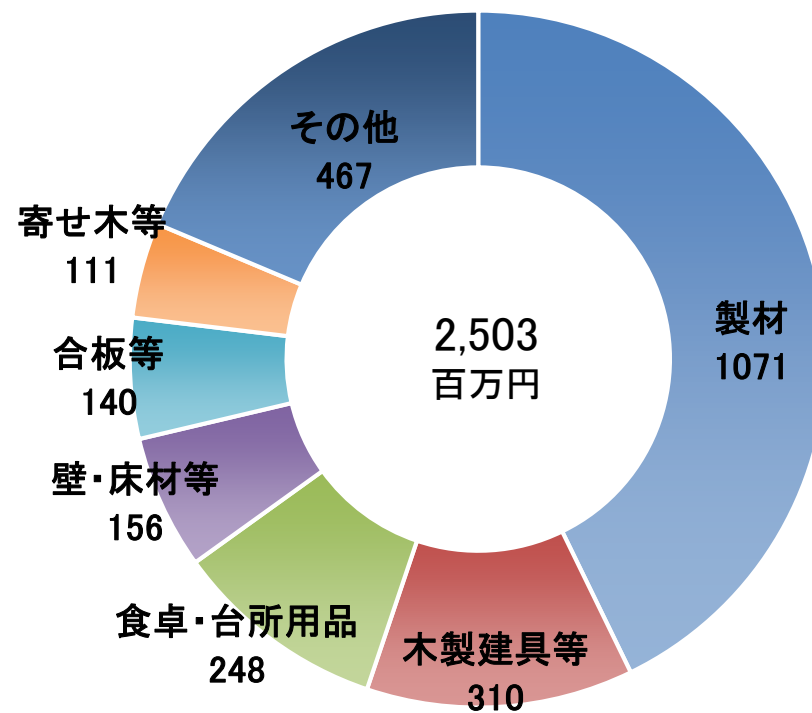
熱帯木材合板(14種)は、ダークレッドラワン、ライトレッドメランチ、ホワイトラワン、マホガニー等の14種の熱帯木材を原料としたもの。熱帯木材合板(その他)は、熱帯木材合板(14種)を除く熱帯木材を原料としたもの。針葉樹合板は、針葉樹を原料としたもの。広葉樹合板は、熱帯木材を除く広葉樹を原料としたもの。

米国への林産物の輸出状況

国・地域別木材輸出額の推移



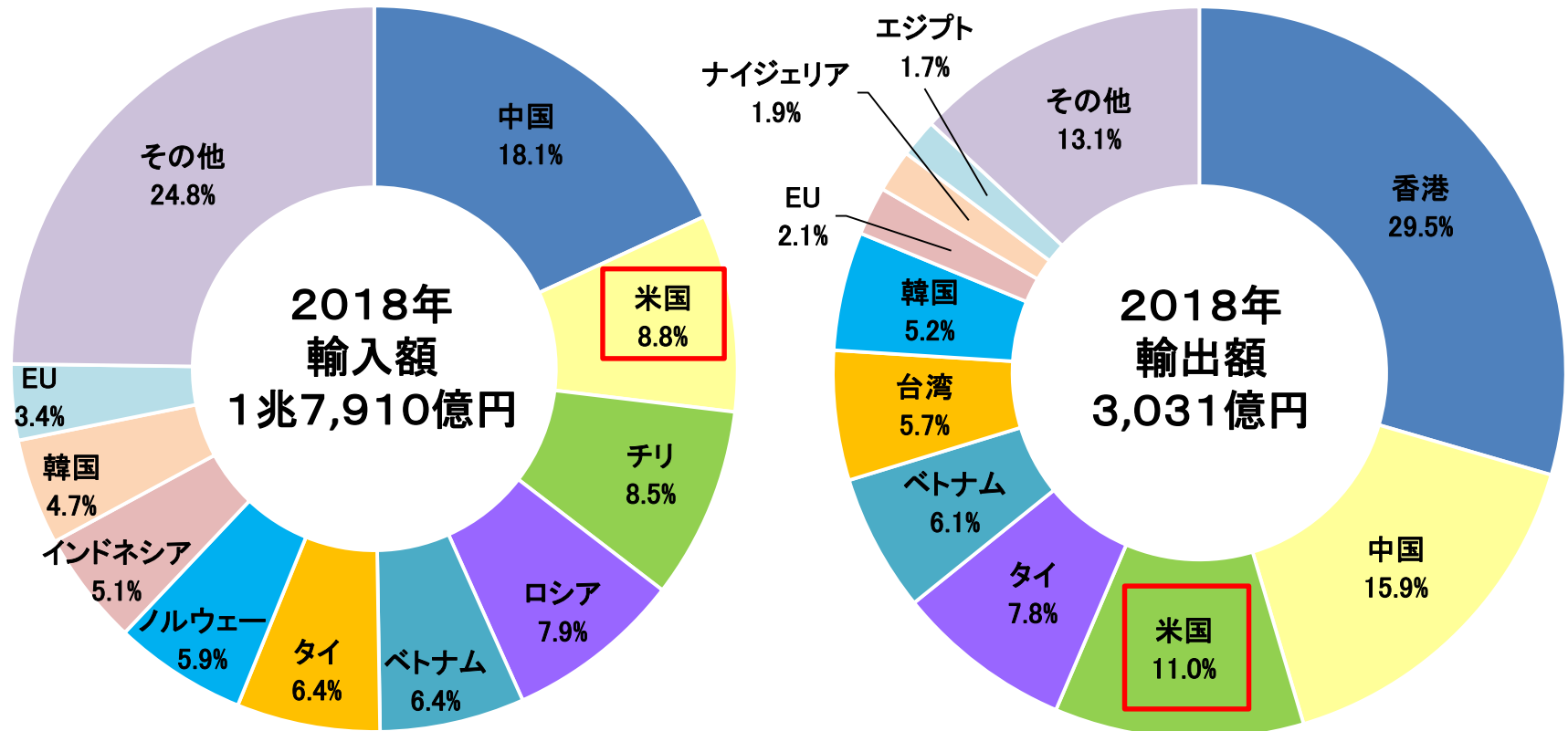
米国への輸出額 (2018)



(資料:財務省貿易統計)

我が国の水産物輸出入額(国・地域別割合)

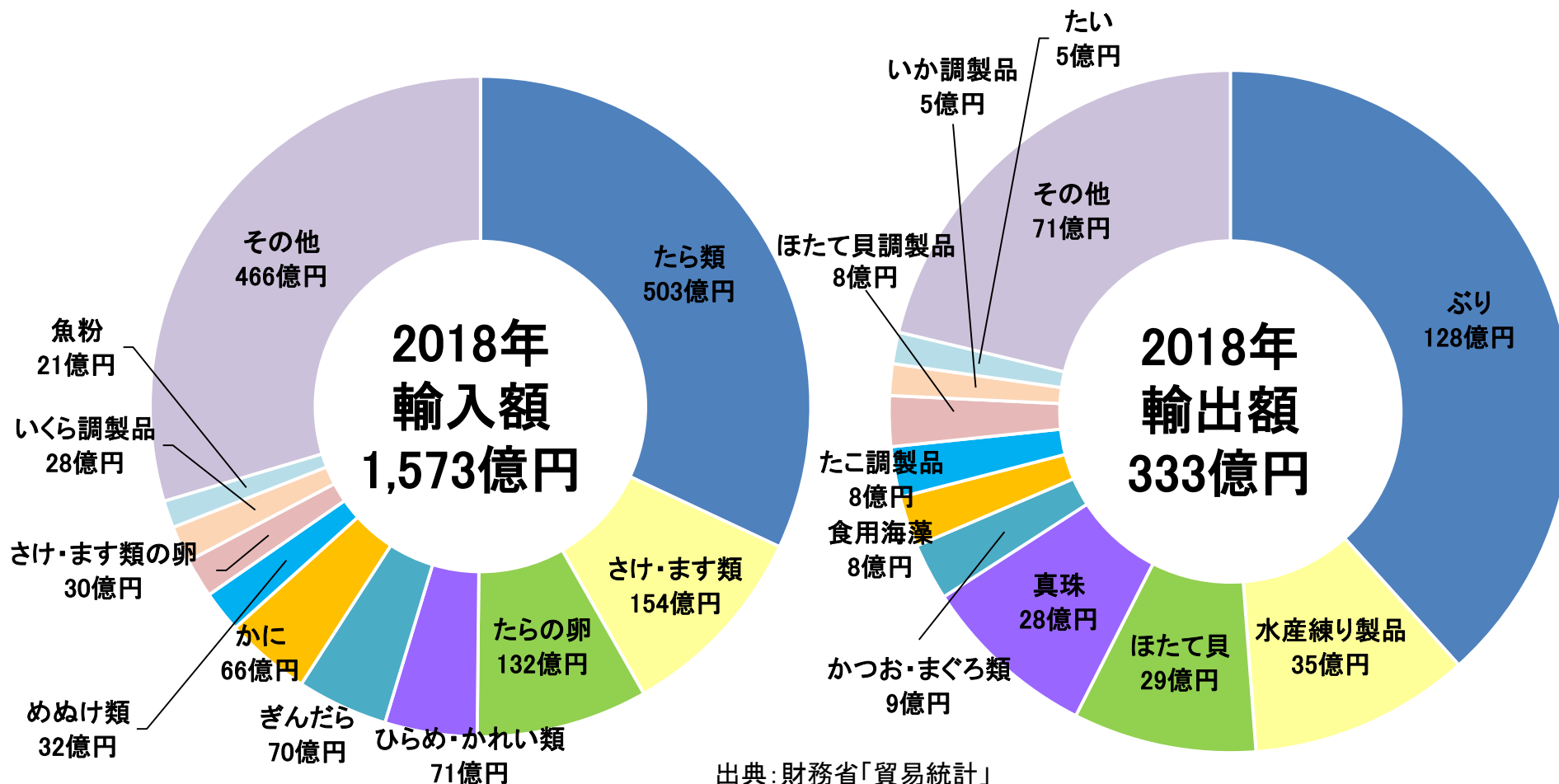
- 米国からの水産物の輸入は全体の8.8%(1,573億円)、米国への輸出は全体の11.0%(333億円)。



出典:財務省「貿易統計」

品目別輸出入額(対米国)

- ・ 我が国は米国から、たら類、さけ・ます類等を輸入。
- ・ 我が国は米国へ、ぶり、水産練り製品、ほたて貝等を輸出。



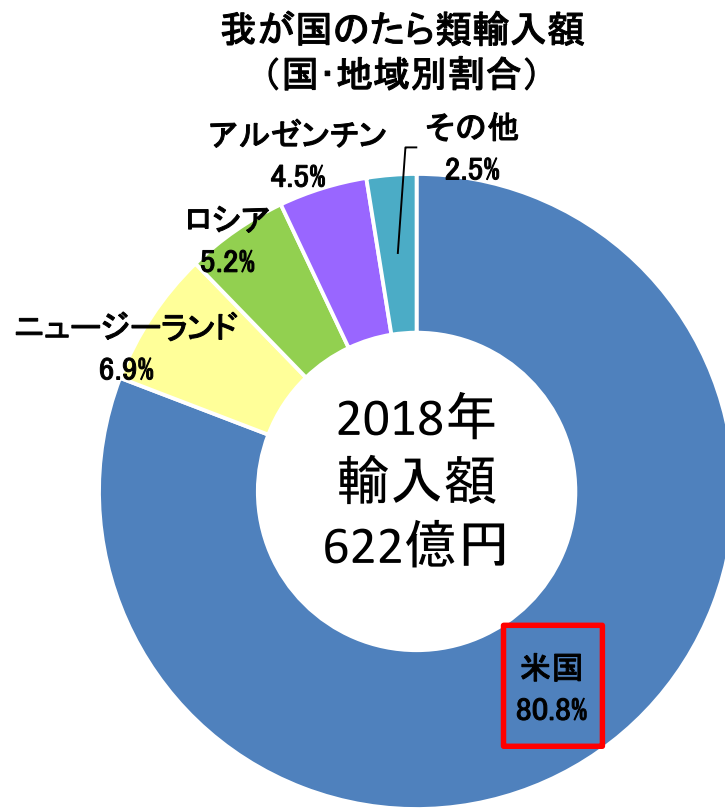
品目	関税率	全世界からの 輸入額 (百万円)	米国からの 輸入額 (百万円)	全世界からの
				輸入額に 占める割合(%)
あじ	10%	3,563	—	—
さば	7～10%	16,015	—	—
まいわし	10%	28	—	—
ほたてがい	10%	201	41	20
まだら	6～10%	7,447	6,210	83
するめいか、あかいか、 やりいか	3.5～5%	57,976	1,881	3
かつお・まぐろ類	3.5%	200,102	1,246	0.6
うち くらまぐろ	3.5%	59,153	942	2
うち きはだまぐろ	3.5%	45,967	281	1
さけ・ます類	3.5%	225,671	15,382	7
うち べにざけ	3.5%	33,506	11,550	34
うち 太平洋さけ等	3.5%	61,038	3,501	6
こんぶ	15%	2,023	2	0.1
のり	1.5円/枚、 40%	6,591	—	—
わかめ	10.5%	10,187	—	—
ひじき	10.5%	3,955	—	—
うなぎ	3.5%	30,914	—	—

※輸入額は2018年実績。—(バー)は輸入実績なし。

出典:財務省「貿易統計」

たら類の輸入額及び国内生産

- ・ 米国からのたら類の輸入額は、全体の80.8%(503億円)。うち約8割が冷凍すり身。
- ・ たら類の国内生産額は、234億円(2017年)。



出典:財務省「貿易統計」

たら類の国内生産額及び国内生産量の推移

(海面漁業)

単位:億円、千トン

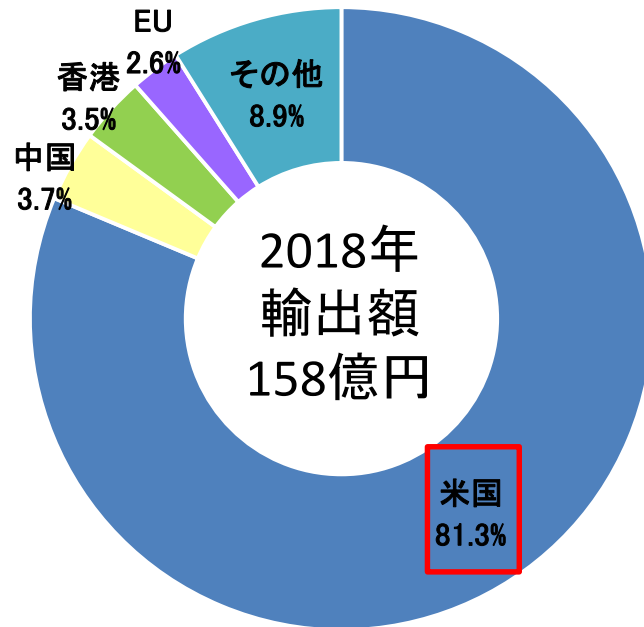
	2014	2015	2016	2017	2018
生産額	291	323	261	234	-
生産量	252	230	178	174	177

出典:漁業・養殖業生産統計年報

ぶりの輸出額及び国内生産

- ・ 米国へのぶりの輸出額は、全体の81.3%(128億円)。
- ・ ぶりの国内生産額は、1,504億円(2017年)。

我が国のぶり輸出額
(国・地域別割合)



出典:財務省「貿易統計」

ぶりの国内生産額及び国内生産量の推移

(海面漁業)

単位:億円、千トン

	2014	2015	2016	2017	2018
生産額	339	342	299	312	-
生産量	125	123	107	118	100

(養殖)

単位:億円、千トン

	2014	2015	2016	2017	2018
生産額	1,193	1,201	1,177	1,192	-
生産量	135	140	141	139	139

出典:漁業・養殖業生産統計年報